

スカイワードあさひ 天体観測室

星の広場



〒488-0883 尾張旭市城山町長池下4517番地1
TEL 0561-52-1850 FAX 0561-52-1851

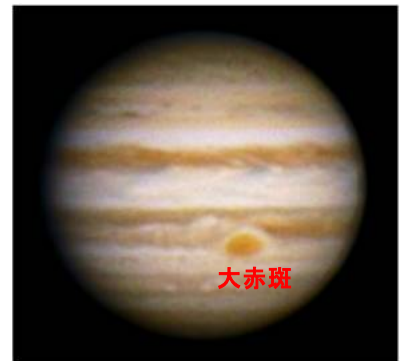


2019年 6月

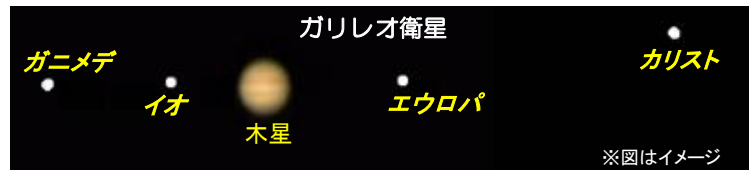
6月の観望天体

「巨大ガス惑星」木星と4個のガリレオ衛星

日没が遅くなり、ようやく暗くなった宵の東の空に明るく輝く木星が昇ってきます。木星は夜空では金星の次に明るく「真夜中の明星」と呼ばれることもあります。木星は太陽系5番目の惑星です。太陽系の惑星ではいちばん大きく、直径は地球の約1.1倍、重さは約318倍もあります。木星は水素やヘリウム、アンモニアなどの厚い大気におおわれている「巨大ガス惑星」です。望遠鏡では、大気の「しま模様」や「大赤斑」が観察できます。木星には多くの衛星が見つっています。特に大きく明るい4個の衛星は、ガリレオ・ガリレイが発見したことから「ガリレオ衛星」と呼ばれます。望遠鏡で見ていると、日々、並び方が変わります。観察できます。



太陽からの距離	約7億8000万km
公転周期	約12年
自転周期	約10時間
赤道直径	約14万2000km
衛星の数	69個



6月の夜間観望会

日曜日 19:30~20:30

※夜間観望会は「スカイワードあさひ星の会」が運営します。
※小中学生は保護者と一緒に来てください。
※天候や機器の整備等で中止する場合があります。
スカイワードあさひに16時以降にお問い合わせください。

開催日	主な観望天体
2日	スカイワードあさひが休館のため 開催しません。
9日	上弦前の月、うしかい座44番星 など 44番星は5等星ですが、美しい二重星です。大きな望遠鏡で分離して見えます。
16日	満月前の月、木星 など 月と木星が並んで見えます。
23日	木星とガリレオ衛星 など 南東の空に木星が輝いています。
30日	第5週の日曜日のため 開催しません。

6月の太陽観望会



黒点やプロミネンスなどの太陽活動をH α フィルター太陽観測専用望遠鏡で観察しましょう。

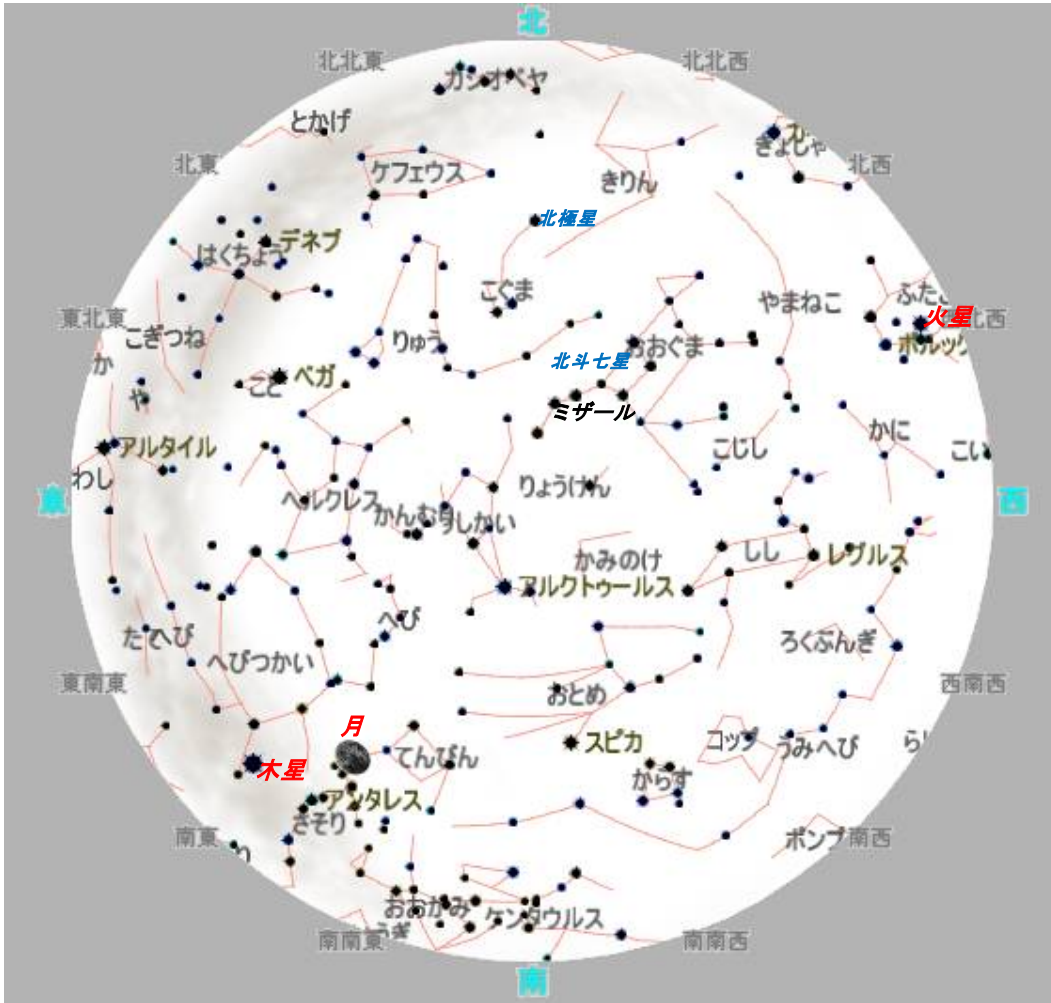
火・土・日曜日、祝日
1日(土)、2日(日)休み

10:00~12:00
13:00~15:00



6月の星空

2019年6月15日 午後8時



6月の惑星

- 水星 夕方の西の空
- 金星 明け方の東の空
- 火星 夕方の西の空
- 木星 宵の東の空
- 土星 夜中の東の空
- 天王星 明け方の東の空
- 海王星 明け方の南の空

水星は24日の東方最大離角に向けて、夕方の西空で高度を上げていきます。19日には火星に接近して並ぶようすが見られます。

金星は「明けの明星」ですが、高度は低く、観望しにくくなりました。

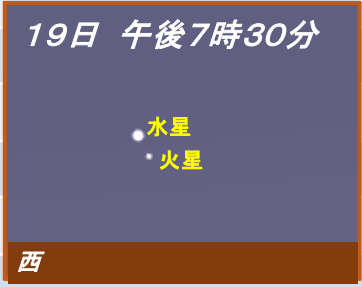
木星は11日に衝となり、日が沈むと東の地平から姿を現すようになります。いよいよ観望好機に入りました。

土星は7月10日が衝なので、夜更けには昇ってきます。衝とは、外惑星が地球から見て太陽の反対側にきたときです。このときはほぼ一晩中観察することができます。

日	曜	月齢	6月の主な天文現象
1	土	27.6	
2	日	28.6	
3	月	0.1	新月
4	火	1.1	
5	水	2.1	月が火星に接近
6	木	3.1	(芒種)
7	金	4.1	
8	土	5.1	
9	日	6.1	
10	月	7.1	上弦の月
11	火	8.1	(入梅) 木星が衝
12	水	9.1	海王星が西矩
13	木	10.1	
14	金	11.1	
15	土	12.1	



日	曜	月齢	6月の主な天文現象
16	日	13.1	月が木星に接近
17	月	14.1	満月
18	火	15.1	
19	水	16.1	
20	木	17.1	
21	金	18.1	
22	土	19.1	(夏至)
23	日	20.1	
24	月	21.1	水星が東方最大離角
25	火	22.1	下弦の月
26	水	23.1	
27	木	24.1	
28	金	25.1	
29	土	26.1	
30	日	27.1	



22日 夏至

北半球の日本では、春分から秋分までの間、太陽は真東より北側から昇り、真西より北側に沈みます。夏至には日の出、日の入りの方向がもっとも北側になり、昼間がいちばん長くなります。